

社会資本総合整備計画

桶川駅東口周辺地区都市再生整備計画

平成30年 1月19日

埼玉県 桶川市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年 1月19日

計画の名称										桶川駅東口周辺地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当○					
計画の期間										平成30年度～令和4年度（5年間）										交付対象		桶川市			
計画の目標										現在、桶川駅東口は駅前が歩行者・自転車・路線バス・タクシー・一般車両が交錯している状況であり、歩行者や自転車等の安全性が確保されていない。 また、桶川駅東口にはエレベーターがなく、高齢者や障害者等の歩行者への利便性に支障をきたしている。 そのため、桶川駅東口周辺の都市基盤の早期整備を図り、安心安全な歩行空間を形成し、歩いて暮らせるまちづくりを推進していく。															
計画の成果目標（定量的指標）										・駅利用者及び自由通路往来者数の増加を目指す。 ・桶川駅東口駅前広場の開通により、桶川駅までのアクセス性の向上を目指し、市民アンケートでの不満度の減少を目指す。 ・桶川駅東口駅前広場の開通により、地区内の安全性の向上を目指す（交通事故数の減少）。															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H24・28) 最終目標値 (R4末) 桶川駅自由通路の往来数を調査する。 4,110人(H28) 4,300人 車での駅東口広場の利用のしやすさのアンケート調査を行う。 84.00%(H24) 45.00% 誰もが不便や不安なく歩行できる道路のアンケート調査を行う。 84.70%(H24) 40.00% 地区内の交通事故の発生件数を調査する。 14件(H27) 12件										備考					
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		1,536百万円		A		1,536百万円		B		0百万円		C		0百万円		D		0百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.0%	
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
									H30	R1	R2	R3	R4												
A-1	都市再生	一般	桶川市	直接	桶川市	桶川駅東口周辺地区都市再生整備計画	駅前広場5,600㎡、エレベーター設置等	桶川市						1,536											
									合計					1,536											
B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
									H30	R1	R2	R3	R4												
									合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H30	R1	R2	R3	R4												
									合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H30	R1	R2	R3	R4												
									合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									

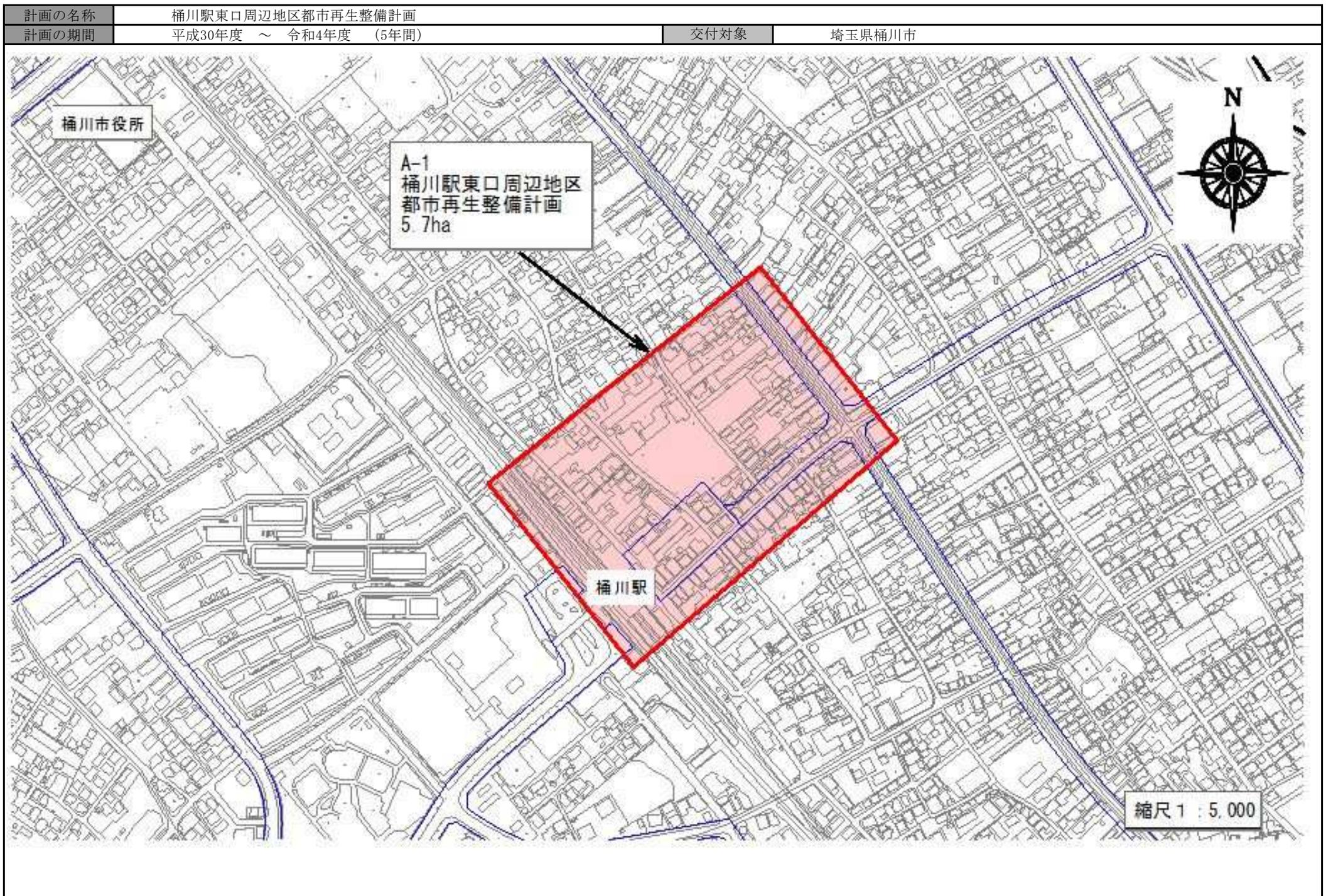
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4
配分額 (a)	49	151	71	19	34
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	49	151	71	19	34
前年度からの繰越額 (d)	0	49	35	8	0
支払済額 (e)	0	165	98	27	34
翌年度繰越額 (f)	49	35	8	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）



社会資本総合整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

と し さ い せ い せ い び け い か く さ い た ま け ん お け が わ し
都市再生整備計画（埼玉県桶川市）

(参考)年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
桶川駅東口周辺地区都市再生整備計画事業	桶川駅東口周辺地区都市再生整備計画	桶川市	1536.0	190.0	290.0	400.0	30.0	626.0
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			1,536	190.0	290.0	400.0	30.0	626.0
関連社会資本整備事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効果促進事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			1,536.0	190.0	290.0	400.0	30.0	626.0
累計進捗率 (%)				12.4%	31.3%	57.3%	59.2%	100.0%

都市再生整備計画

おけがわえきひがしぐちしゅうへんちく
桶川駅東口周辺地区

さいたまけん おけがわし
埼玉県 桶川市

平成30年1月

目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	桶川市	地区名	桶川駅東口周辺地区	面積	5.7 ha
-------	-----	------	-----	-----	-----------	----	--------

計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度
------	--------------------	------	--------------------

目標

- 大目標: 桶川駅東口周辺の都市基盤の早期整備を図り、安心安全な歩行空間を形成する
- 目標1: 桶川駅駅前広場を整備し、歩行者・自転車・自動車の安全性を確保する
- 目標2: 桶川駅東口自由通路にエレベーターを設置し、東西の往來の強化、駅利用者の利便性の向上を図る
- 目標3: 歩行者用シェルター(屋根)を整備し、歩行者の利便性の向上を図り、カラー舗装や緑化施設等を整備し、市の顔である駅前の景観を形成する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本市は埼玉県のほぼ中央部に位置する人口約7万5千人の都市であり、都心まで40km圏にある。市内には東西方向に桶川北本インターチェンジ、桶川加納インターチェンジを擁す圏央道が横断し、南北方向に国道17号線及び国道17号線バイパス(上尾道路)が縦断している。また、鉄道では南北にJR高崎線が縦断しており、本市は交通結節点として、交通の利便性に恵まれている。区画整理事業も現在3地区で施行されており、新たな市街地も形成される予定である。また、圏央道の開通にあわせて、インターチェンジ周辺地域への企業誘致を進めている状況である。新市庁舎も平成30年度に開庁予定であり、市としても新たな時代の幕開けを迎えているところである。そのような中で、中心市街地である本地区に関しては、未整備の道路が多く、市の顔と呼ぶにふさわしい地区とはなっていない現状である。

・平成23年度より今後10年間のまちづくりの基本方針となる「桶川市第五次総合振興計画」を策定しており、平成28年度より後期基本計画を策定した。「みんなで つくり 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」の実現を目指し、市民と行政が協力し、まちの歴史や文化の個性や魅力にあわせ、交通結節点としての利便性を生かし、活気あふれるまちづくりを進めている。

課題

- ・本地区は桶川市の中心市街地であるが、駅前にロータリーがなく、歩行者・自転車・自動車の往來に支障をきたしている状況であり、安全性が確保されていないため、早期の整備が望まれている。
- ・本市の駅西口には商業施設があり、駅東口からの買い物客も多い。また、桶川駅はJR高崎線沿線の高崎支管内でも4番目と鉄道利用者が多いところであるが、東口エレベーターがなく、高齢者や障害者が地域で安心して暮らせるように配慮が求められている。
- ・公共交通利用者の利便を高めるために、バス停や歩行者用道路でのシェルター(屋根)がなく、バリアフリー化にも対応していないため、未整備箇所の一層の整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 【桶川市第五次総合振興計画】(平成23年3月)
- ・本地区は桶川市の中心市街地として、都市拠点と位置づけられている。駅前広場及び駅東口通り線の整備を促進し、あわせて文化・交流・業務機能の向上を図る。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
駅自由通路往來者数の増加	人	桶川駅の自由通路の往來数を調査する	駅東口自由通路へのエレベーターの設置により、東西の往來者数の増加を見込む	4,110	H28	R5
車での利用のしやすさの不満足度	%	車での駅東口広場の利用のしやすさのアンケート調査	駅東口駅前広場の整備により、車でのアクセス性を上昇させ、交通結節点としての役割を向上させる	84	H24	R5
誰もが不便や不安なく歩行できる道路の不満足度	%	誰もが不便や不安なく歩行できる道路のアンケート調査	駅東口駅前広場及びカラー舗装の整備・シェルターの設置により、歩行者の利便性の向上や安心・安全な歩行空間を形成する	84.7	H24	R5
地区内の交通事故の発生件数	件	地区内の交通事故の発生件数を調査する	歩道付き道路が整備されることにより、安心安全な歩行空間を形成する。	14	H27	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 交通機能の向上と利便性の向上を図るため、桶川駅東口の駅前広場の整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅東口周辺の道路を整備することにより、歩行者・自転車・自動車の交通空間の利便性の向上を図る。また、整備により交通結節点としての機能を向上させる。 	<p>【基幹事業】 道路：駅前広場整備事業</p>
<p>整備方針2 駅利用者及び西口往来者の利便性を向上させるため、駅自由通路にエレベーターを設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅東口自由通路にエレベーターを設置することにより、東西の往來の増加、高齢者や子育て世帯の駅利用者を増加させ、中心市街地としての活性化を図る。 	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設：エレベーター設置事業</p>
<p>整備方針3 駅前広場の歩行空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場にシェルターを設置し、歩行者の歩行空間の向上を図る。また、緑地を整備することにより、市の顔となる駅での景観づくりを進める。 	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設：歩行者用シェルター整備事業 高質空間形成施設：緑化施設等設置事業</p>
<p>その他</p>	

桶川駅東口周辺地区(埼玉県桶川市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	桶川駅東口周辺地区の都市基盤の早期整備を図り、安心安全な歩行空間を形成する	代表的な指標	駅自由通路往来者数の増加	(人)	4,110	(28年度)	→	4,300	(5年度)
			車での利用のしやすさの不満足度	(%)	84	(24年度)	→	45	(5年度)
			誰もが不便や不安なく歩行できる道路の不満足度	(%)	84.7	(24年度)	→	40	(5年度)
			交通事故数の発生件数の減少	(%)	14	(27年度)	→	12	(5年度)

